

栗原氏の言を

知事は少しも信じぬ

背信行爲と罵られた揚句

お詫びに始末書を出す

先般栗原次郎氏は香坂知事の前に於て立派に水利権放棄を言明せるに拘らず利権慾に戀々たるの餘り其後利権を野崎氏に與へ何て其椅子を野崎氏に與へ何等辯明的態度に出でなかつた爲め今回の取消願に出縣せる際知事から痛く其態度を難詰され始末書一札を出して詫入つた由であるが其際の知事の意見は左記の如くである(縣廳發表)

『小田中野栗原三氏は過般知事の面前にて自發的に該水利権は今日口頭を以て取下げたり書面は直に提出すべしと明言し置ながら歸宅後如何なる事精の起りたるにもせよ唯小田氏より電報にて取消不明となり謹んで謝す旨を申出たるに止まり其後召喚せるも來らず栗原氏の如きは社長を辭せる趣なるも知事に對しては約束に背きたる点に對し一回だに陳謝の意を表せずかゝる背信行爲をなせる人々に對しては予は口頭のみでは信を措く能はず人を見たら盜賊と思へどは悪しき事なるも予はかゝる人々の言を信する能はず知事の意見を聽かんとならば宜しい先づ正式の書面を提出して然る後に断じて何等の意見をも述べざる能はず』

海水が冷い

沿岸には寒流 鯉漁も不漁續

鯉は相變らず不漁續きであるが磐城丸及び茨城丸の行った横断観測の結果を綜合して最近の漁況を推定すると小名濱沖七八十哩から二百七十哩の間即ち幅二百哩互つては

暖流が

これをしめ 寒流の勢ひ強く且六十哩より沿岸に及んで矢はり寒流が帯狀に長く銚子に達してゐる海水浴客が海の冷たきを叩つのは此爲で暖寒の

衝突地点は原釜沖八十哩の地點らしいこの衝突地点には鯉の大群がある模様だから昨今南風が北に

猛牛の角に掛られ 投げ飛ばされて重傷

部落總出の牛退治

双葉郡廣野村材木商山根與十郎は石城郡上小川村にて材木運搬の爲め牛を役使し夜間は繋留せずに放置せる爲め附近に出没して田畑を荒す依り廿一日午後十時半頃附近の村民總出にて牛を捉へんと其鳴き聲を聞きつゝ接近した際同村大字上小

川字内倉草野榮(三)は荒れ狂へる牛の角に掛けられ二三間も投げ飛ばされて重傷を負へ同村松本醫院にて治療中の由

お断り(記事幅に付き「常磐片々」及び「不平受付」休載)

矢張尋ぬる人

よく似た男

家出者に

家の附近を

徘徊して逮る

岩瀬郡牧村大字上松本字松谷水沼浄一(四)は去る二十日午後十一時頃石城郡内郷村綴坑々夫長屋大瀧義一方の就寝中なるを奇貨とし忍び入り衣類二十三点(價格二百七十五圓)を窃取し二十二日其附近を徘徊中安田森兩刑事が逮捕し平署にて取調中であるが餘罪ある見込みの由

体育協會

近く發會式

磐城炭礦にては體育獎勵の爲め金三百圓を基本金と爲し其他一般から寄附を集め

カテイラン

日やけの療法

海水浴等に参りましたも日やけのせぬ様その豫防について話して見ませう、よく用ひられてゐるのはワゼンを土臺にしてキニーネを配合した、いろいろなクリームでありませう、ワゼンのみを顔にぬつても日やけをよく防護することが出来ます

十時頃

に寝かし八時頃

時頃から二時間位の勉強をさせて差支ない、但し朝は誰れでも五時頃起き新鮮な空氣の中で一運動させた後朝食を與へるがいゝ暇があるならば一日でもいゝから海や山へ連れて行くがいゝ腸胃を壊した場合は應急の手當には灌腸用ひつつけの下劑を用ひて一旦胃腸を清潔にして成るべく流動物を徐

一日に九萬石

冬期の約二倍

平町の水道は昨今の酷暑に使用量激増し今後降雨のない場合は断水の虞があるの

募集

文藝其他一般投稿を募集します

鎌田方部にては廿三日溝渠其他に石油乳劑を撒布した

人なる木村方へ立寄りしものであると

マツチを持ち

不審の男徘徊

昨廿三日午町を徘徊してゐる舉動不審の男あるので平署持館巡査が引致取調た處同人は口をつくんんで何事も語らず筆を取つて書きつけたる處によると同人は自稱新潟市沼無町芳賀酒井憲三(五)で十数日前當町に來たものらしく懐中にはマツチを所持し不審の點あるので平署で目下嚴重取消中

盗んだ

家の附近を

徘徊して逮る

家の附近を

徘徊して逮る

角質を一二回はござるより外に致し方がありません、さうするとすぐ黒くならぬ前の様になりますついでに一言注意しておきたいことは皮膚を丈夫にするためだといつて背や肩をわざわざ日光に焼く人がありますがあれは少しも効果なくただ軽い火傷を作るのみに過ぎないのであります

平湯本間に

十二人乗の

自働車を運轉

自働車を運轉

十二人乗の

日本鐵道事業株式會社では從來平湯本間の軌道自働車を運轉しつゝあつたが今回更に十二人乗用の乗合自働車二輛を購入し該區間を運轉すべく目下それ／＼準備中である

鎌田乳劑撒布

平町

鎌田方部にては廿三日溝渠其他に石油乳劑を撒布した

募集

文藝其他一般投稿を募集します

鎌田方部にては廿三日溝渠其他に石油乳劑を撒布した

暑親の夏休みが来た

放たれたる子供達は

学校の夏休みが来る子供達が放たれた小鳥の様自由な空氣を吸ふ時である、しかし夏の兒童は胃腸を一番に胃されやすいから注意を要する夏季は暑熱の爲に消化作用が衰へて夏瘦を生ずるが、それを見て親が

多量の

食物を與へ

ようとするのは却つて悪い野菜類新鮮な貝、小魚類のやうな消化し易いものを與へ凡て加熱するが安全であ

危険が

伴ふ果物も

皮のまゝ食べさせるは悪い食物と共に寝冷え大の禁物であるが餘りの厚着をさせるとは却つて宜しくない確

胃腸病が急激に増加する

る、間食を廢してソシヤクを教へるが肝要だが、一方野菜類でも漬物にするか胡瓜もみのやうな酢のものにするは安全で滋味がある、唯魚肉の酢のものは兎角肉の纖維内に潜む微菌迄は消毒出來ないから

危険が

伴ふ果物も

皮のまゝ食べさせるは悪い食物と共に寝冷え大の禁物であるが餘りの厚着をさせるとは却つて宜しくない確